

要 約

試験委託者

環境省

表題

フタル酸ジ-*n*-オクチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖試験

試験番号

A050383

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998)に準拠して実施した。

- 1) 暴露方式 : 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 2) 暴露期間 : 21日間
- 3) 試験濃度 (設定値) : 対照区, 助剤対照区, 0.000990* mg/L
* 試験液調製可能最高濃度での限度試験
助剤濃度一定: 100 µL/L (ジメチルホルムアミド* 使用)
- 4) 試験液量 : 80 mL/容器
- 5) 連数 : 10容器/試験区
- 6) 供試生物数 : 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 7) 試験温度 : 20±1℃
- 8) 照明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 9) 分析法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、試験液調製時において 93～106%、換水前において 26～41%であった。濃度減少の主な原因は、生物への移行および餌（クロレラ）への吸着が考えられる。（付属資料－7）

2) 21日間暴露後の結果

| | (mg/L) | 95%信頼区間 (mg/L) |
|---------------------|-----------|----------------|
| 親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) | >0.000607 | 算出不可 |
| 50%繁殖阻害濃度 (EC50) | >0.000607 | 算出不可 |
| 最大無作用濃度 (NOEC) | >0.000607 | — |
| 最小作用濃度 (LOEC) | >0.000607 | — |